

令和 8 年度 学校評価計画書

学校名（廿日市市立大野西小学校）

評価計画					自己評価					学校関係者評価 コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間 10月	最終 2月	評価 10月	評価 2月	結果と課題の分析		
小中一貫教育を通じて「言語や情報を使いこなす力」「多様性を認め協働する力」「自律的に活動する力」を育成する。	◎基礎・基本の定着 「他者参照」を手がかりに全員が「表現する」授業づくり	・国語、算数の強化	6年生：全国学力・学習状況調査の県平均との差、 全学年：標準学力調査の全国平均との差	+ 3pt 以上→A、 + 3pt 以内→B、 － 3pt 以内→C、 － 3pt 以上→D							
		・家庭学習の充実	児童アンケートで「家で自分で計画を立てて自学や AI ドリルを活用して勉強しています」の肯定的評価の割合	70%以上							
		・説明する力の向上	校内調査問題（国・算）において、説明力問題の正答率を80%以上にする。	80%以上							
	育成すべき資質・能力を意識した教育活動の推進	・課題発見解決学習の実践 ・学年別研究授業や小中合同の研修会の実施	児童アンケートで「課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組む」の肯定的評価の割合	90%以上							
	◎児童の主体的な活動の充実 つなプロの日常化	・児童会、委員会活動、異学年交流活動の充実	児童アンケートで「教育活動(当番や係、委員会の仕事)に主体的に(自分から)取り組んだ」の「よくあてはまる」の割合	90%以上							
		・学級活動の充実	児童アンケートで自己有用感を示すアンケートの肯定的評価の割合	80%以上							
			児童アンケート（高学年）で「自分は学校・学年・学級集団（チーム）の仲間に協力し、貢献していると思います」の肯定的評価の割合	80%以上							
		・不登校支援の充実	アセスメントを行い、相談室等学校以外の機関につないだり、保護者と連携したりした割合	100%							
	◎働き方改革の推進	・学校行事、その他の活動を精選する。 ・仕事に見通しをもたせる。	時間外在校等時間 超過人数の割合	45 時間以上 20%以下							
	その他		保護者アンケートで「大野西小学校の教育に満足している」の肯定的評価の割合	85%以上							

※ 中期経営目標（めざす児童生徒像）・短期経営目標（めざす児童生徒像）・目標達成のための方策については小・中学校共通とする。

※ この様式はあくまでも「参考様式」であり、これに示した項目が反映されていれば別様式でもよい。ただし、次の5点には十分留意すること。

- 短期経営目標のうち、本年度の重点目標については、◎印で示し、◎印は全体を通して3項目以内とする。
- 重点目標を中心に「評価項目・指標」（めざす姿）を精選し、取組を進めること。
- 別途提示している「廿日市市学校評価共通項目」が「評価項目・指標」に含まれていることを確認すること。（【市共通項目】⇒第3期廿日市市教育振興基本計画「確かな学力を育む教育の推進」）
- 「不登校児童生徒が〇人以内」等逆転項目の評価については、2～4段階で評価できるよう学校で定める。